

三軒茶屋駅周辺地区バリアフリー基本構想(世田谷区)

概要 (受理日 平成18年4月13日)

三軒茶屋駅周辺は高齢者・身体障害者等の利用が多い主要な施設が徒歩圏内に位置しているが、バリアフリー化が進んでおらず、区民からのバリアフリー化の要望が多かった。また、幹線道路が地区を分断する等様々なケースの移動・交通環境の地域課題を抱えていた。作成した基本構想に基づき、駅の上下移動の負担軽減、分断されていた地区の統合が実現され、障害者、高齢者、子育て世代等が安心して歩けるような街となるよう整備を行っているところである。

重点整備地区

三軒茶屋駅周辺地区 (面積 99ha)



凡例

- 重点整備地区
- 生活関連施設
- 生活関連経路

特定事業

公共交通特定事業

駅…ホーム階から改札階までのEV設置。階段段鼻の認識性向上、案内サインや音声案内についての検討、ホーム端部の視覚障害者誘導用ブロックの敷設方法の検討、触知式案内板の位置変更の検討、多機能トイレの整備、ホーム上のベンチ増設、幅広の改札の設置、職員の接客教育の継続。

バス…ノンステップバスの導入、段差解消のための停留所改良、職員の接客教育の継続。

道路特定事業

歩道橋の改良、連続した視覚障害者誘導ブロック整備、滑りにくい舗装の整備、看板・はみ出し陳列物の指導。

交通安全特定事業

三軒茶屋交差点の横断問題の解決、音響式信号機への改良、違法駐車取締まり及び広報・啓発活動の実施。

その他事業

公開空地となっているキャロットタワー1階部分の整備(勾配の緩和、視覚障害者誘導用ブロックの設置)、路肩のカラー舗装、電柱の移設についての検討、急傾斜の箇所の改善、道路放置物(カラーコーン等)の改善方策の検討、放置自転車対策の継続。

当事者の意見の反映方法

世田谷区内の各団体を通じ、約900部のアンケートを実施し、三軒茶屋駅周辺地区の施設や道路についての意見を収集した。収集した意見を基に重点的に整備すべき箇所の洗い出しを行った。同様にまち歩き点検調査で課題の洗い出しを行った。

また、協議会や部会、アンケート調査などにおいて寄せられた意見に対して、より詳細な情報を得るため、追加でヒアリングを行い、対応方針をまとめて基本構想に結び付けるなど、当事者に積極的に参画してもらえよう、体制作りを行った。

基本構想の推進体制

協議会の構成

- 学識経験者…国土館大学准教授
- 市民・当事者団体…身体障害者福祉協会、視力障害者福祉協会、聴覚障害者協会、世田谷区ミニキャブ区民の会、高齢者クラブ連合会、各町内会長
- 事業者…東急電鉄(株)、東急バス(株)、小田急バス(株)、三軒茶屋商店街連合会、キャロットタワー管理組合
- 行政…東京都、警視庁、国土交通省

三軒茶屋駅周辺地区バリアフリー基本構想(世田谷区)

公共交通特定事業

ホーム階から改札階までのエレベーターの設置、車いす用の蹴り込みを設けた券売機の設置、多機能トイレの設置（点字案内及び音声案内も設置）、改札口の増設、駅員の研修等を行った。



- ▲多機能トイレの設置及び案内板の整備
- ▼列車接近表示の電光掲示板の設置

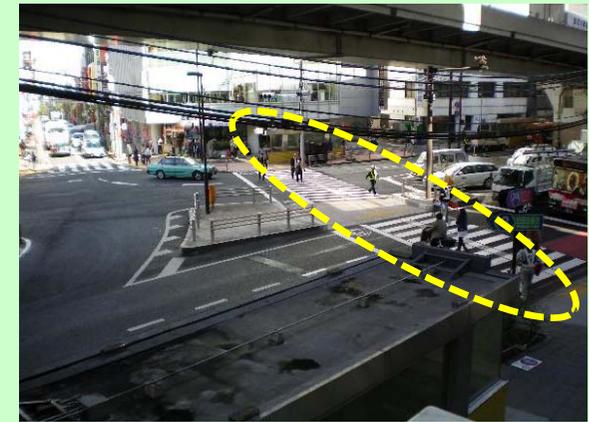


- ▼三軒茶屋交差点の通る路線バスは、ほぼ全車両ノンステップバスを導入。



道路特定事業・交通安全特定事業

国道246（玉川通り）・都道3（世田谷通り）の視覚障害者誘導用ブロックをJIS規格に更新し、地下歩行者専用道路の床面を滑り止め材質に加工した。横断歩道にはエスコートゾーンを設置し、音響式信号機、残り時間のわかる信号機の設置等を行った。



▲三軒茶屋交差点 エスコートゾーンを整備した横断歩道を新設。



- ◀残り時間のわかる信号機の設置

世田谷ボランティアセンター～下馬図書館～
世田谷福祉作業所▼
歩道の拡張とカラー舗装の実施

- ▼三茶パティオ地下歩行者専用道路▼
地下道の滑り止め加工を実施

